

トップニュース：各地市民団体との意見交換会始まる！

去る2月4日、勝山市民会館にて勝山市電車利用促進会議の方々との意見交換会を行いました。これがえち鉄サポート団体との初めての意見交換会。始めはなかなかスムーズな議論とはならなかったものの、後半、ROBA側から配った資料が媒体となって議論が活発化、短すぎる時間に歯がゆさを感じる意見交換会となりました。続いて2月7日に美山町のみやま未来塾の皆さんと、2月15日には松岡町の皆さんとの間で意見交換会を実施、都市再生モデル提案の活動がいよいよ佳境に入ってきました。今後、各団体とは2回目、3回目と回を重ねて議論を続けていきたいと考えています。また、この3地域だけではなく、今後各地に出かけて『ROBAコラボ』をどんどん開催していく予定です。

(文：清水)

活動報告

- 1月27日 都市再生モデル部会
- 1月29日 新人福井市議との勉強会・懇談会
- 2月3日 都市再生モデル部会
- 2月4日 勝山市電車利用促進会議との意見交換会
- 2月5日 第17回まちづくり懇談会
- 2月7日 美山町まちづくりグループとの意見交換会
- 2月10日 都市再生モデル部会
- 2月15日 松岡町まちづくりグループとの意見交換会
- 2月17日 2月作業部会・都市再生モデル部会
- 2月24日 都市再生モデル部会
- 2月27日 2月例会・都市再生モデル部会

今後の予定

- 3月2日(火) 都市再生モデル部会
- 3月4日(木) 第18回まちづくり懇談会
- 3月6日(土) ROBAワークショップ in 美山みらくる亭
- 3月9日(火) 都市再生モデル部会
- 3月13日(土) 住みたくなるまちづくりワークショップ参加
- 3月16日(火) 2月作業部会・都市再生モデル部会
- 3月22日(月) 都市再生第2回アドバイザー会議
- 3月23日(火) 都市再生モデル部会
- 3月26日(金) 2月例会・都市再生モデル部会
- 3月27日(土) あじさいロータリー倶楽部談話会
- 3月30日(火) 都市再生モデル部会

(内田)

会員の広場

門田 恵実(もんだ めぐみ 1982)



はじめまして。福井県立大学に通っています、門田恵実です。現在、学業の傍ら就職活動をし、まちなかNPOや@(学生イベントサークル)に在籍しております。私は特別電車で詳しいというわけではありませんが...福井の路面電車は大好きです！

今はいろいろな新しいことをして、見聞を広めたいと思っています。なにかあったら教えていただけると嬉しいです。また、学生ならではのお力を貸すこともできると思います。ぜひ見かけたら一声かけてください(*^_^*)

新人福井市議との意見交換会 040129

日 時：1月29日(木) 18:30~21:00 場 所：ホリーズ(SOC022)

昨年新しく福井市議になられた方々が毎月1回のペースで自主的に開催されている“勉強会”に内田会長はじめROBAの7名がお邪魔しました。安い会費にも係わらず会場のホリーズさんのご好意で豪華ななべ料理をつつきながら中身の濃い意見交換ができました。



まずROBAから、路面電車やバスなどの公共交通を活かしたまちづくりの可能性に気づき、市民の立場でこれまで行ってきた活動内容や今後の予定などお話しすると、それに応え議員さんからは、「車が使えないと生活が不便な今の福井の状況は良くない」「本当に良いものにすべき。掛け声だけでは利用されない」「車に頼りすぎたまちづくりが今後も通用するとは限らない」といった発言がありました。「乗り方、使い方のわ

からない人が多い。学校教育をもっと活用できないか」「まず市のトップに公共交通重視を宣言してもらおう」といった具体的なアクションプラン(?)も飛び出しました。

今回の勉強会に参加されていた議員の皆様(敬称略、50音順)

青木幹雄、石丸浜夫、大森哲男、後藤勇一、嶋田勝次郎、

高田訓子、谷本忠士、野嶋祐記、堀川秀樹、巳寅令子

(さとう)

勝山市電車利用促進会議との意見交換会 040204

日 時：2月4日(水) 19:30~21:00 場 所：勝山市民会館

2月4日(水)ROBAの7名がえちぜん鉄道を使って、勝山市電車利用促進会議との意見交換会に行ってきました。えちぜん鉄道を使った、歳の市、左義長祭、春の弁天桜など、迎えるイベントを年12回、出かけていくイベントを年12回やって行きたいという計画や、街なかへの鉄道延伸への熱い思いなどを聞かせてもらったり、えちぜん鉄道存続後のまちづくりに力を合わせて取り組んで行きたいということをお話したりして、有意義な交流会になりました。



中心部のサンプラザ前から駅までは、9人のりの「電車接続タクシー」に乗り、最終電車で福井へ帰りました。その後あったかいおでんで一杯、こころもあったか。楽しかったですよ。

(林 博)

みやま未来塾との懇談会 040207

日 時：2月7日(土) 19:00～21:00 場 所：みやま町民交流館

美山町で精力的に様々なまちづくり活動を行っている方々の勉強会"みやま未来塾"が「公共交通で美山のまちづくり」をテーマに開かれるということで、会長以下6名がまたまた出前ROBA。当日は1mを越す積雪のなか、参加者の皆さんご苦労様でした。

<未来塾から>

"未来塾"はこれまで24回を数えるが、公共交通は初めてのテーマ。

最近、美山駅前に念願のコンビニがオープン。物産館や駐車場などの改修もあって24時間明るい場所になった。美山町には"みらくる亭"と"楽しく楽く亭(老人施設)"の送迎バス、小中学校用のスクールバスが走っているが、(役場のタテ割りのためか)送迎サービスに連携がみられない。そのためバス停まで30分歩かねばならない地域もあり、ボランティアの送迎に頼ることもなっている。

役場では、次年度にコミュニティバスの運行を検討しているようだ。

<ROBAの会から>

美山駅周辺は多くの人が集える場所でもあり、地域の拠点に育てられそう。駅前でコンサートの計画があるそうだが、開催時間や案内にも配慮して、公共交通でも来やすくなるよう工夫してはいかが。

公共交通はまちの装置、収支面だけでなく、公共施設のようにいかに役に立たせるかが大切。「公共交通の活性化はまちづくりに通ずる」という視点をぜひ行政と町民が共有して欲しい。町営の各種のバスの使い勝手がよくなるように、運行ルートや運行時間の分析を町民自らおこなってはいかが。バス停の名前を変えるだけでも一定の効果もでてくるのではないだろうか。

(例：島 美山駅前)

最後に、主催者から「今まで、どう取組めば良いか判らなかったけれど、今日の話でなんとかいけそうな気分になってきた。今日の話をもちまちづくりに活かしたい」との感想をいただきました。(内田)

松岡町のまちづくりグループとの懇談会 040215

日 時：2月15日(日) 15:00～16:15 場 所：県民活動センター会議室

都市再生モデル調査の一環としての出前ROBAシリーズ第3弾。皆さんで平成大野屋や武生蔵の辻を視察して来られたそうで、今回はROBAのホームグラウンドでの開催です。



町が小さいので大野や武生のようなことは出来ないかもしれないけど、「松岡の宝を発信して多くの人が集まる場所をつくりたい」「医科大・県立大・九頭竜川・古墳などをもっと活用できないか」といった意見をお持ちのようでした。

おりしも福井大と医科大が統合されたことですし、県立大もあわせ、3つのキャンパスを結ぶ公共交通の中継拠点として松岡駅周辺を整備するというアイデアも面白そう

です。そうなれば、松岡駅前に学生があふれ、名実ともに「学園都市」になれそうですね。

(さとう)

福井市議会 NPO 推進議連発足記念事業に参加しました！

日時：平成 16 年 2 月 21 日（土）14 時～

場所：ホリーズ（福井市片町の SOCO 2 2 2 F）

参加：内田、坂川、高橋、木下、谷村、門田、畑

掲記のような記念事業に参加してきたので報告をします。

推進議連とは？

正式には「福井市議会非営利公益市民活動推進議員連盟（NPO 議連）」と言います。これは NPO 活動の推進と、行政と NPO の協働事業の推進を目的として発足し、第 5 次福井市総合計画の基本理念の実現の重要課題として挙げられていました。

参加者

今回は発足記念だったので、酒井市長や奈良副市長を始め市議会の皆さん、福井市に事務所を置く NPO 関係者、敦賀市・鯖江市・武生市・美山町から、総勢 120～130 人の参加がありました。

内 容

1 部は「福井における NPO 活動」として、県民活動センターの山口晋司さんが、NPO とは！について話をして下さいました。

2 部では、まちなか NPO から永井さん、ばそぼらねっと F から高嶋さん、芸術文化フォーラムと福井県子ども NPO センターから岸田さん、当会から内田さんが活動内容の報告や協働事業の事例紹介をしました。

交流会では、それぞれの団体さん同士で意見交換や情報交換など、交流を深めていました。



今後の予定

行政と NPO の協働は全国的な流れだが、議員が動き出したのは全国でも例がないそうです。今後も議員連盟として、NPO との協働学習会を開催していくようです。 （文 はた）

ミニ特集 ゆうじんの部屋 書籍紹介

「LRTで変わる京都のまちと暮らし」 副題: 都大路まちづくり大作戦

土居靖範・近藤宏一・榎田基明共著 つむぎ出版 定価714円+税

この本は「京都の交通 今日と明日」パート4と位置付けられている。パート2がまちづくりと交通、パート3がひと・まち・交通で、一貫してくるま中心のまちづくりを批判した啓蒙書である。

丁寧語とわかりやすい言葉で京都での路面電車の復活の利点を説いているが、なぜかそこが組織政党のパンフレットのように、騙されているようないやな感じがつきまとう。中身はいいんだけど。

(だから選挙運動は難しいのですよ)

次の京都市長選は、どうも路面電車復活論者が立候補するらしい。もしそうになると、路面電車推進側の運動員は、この本の Q and Aあたりを暗誦するのだろうか。この本を使って、交通問題で議論を吹っかけてくる人を打ち負かすマニュアルに使いたい人にはお奨めします。

「東京の常識は世界の非常識」

柴田徳衛 著

自治体研究社 1300円+税

東京都立大学教員や東京都の重職を経験した著者が、横断歩道橋、住宅ローンの少なさ等を通して、住民のための都市でなく、生産のための都市を作ってきた日本のまちづくりを批判する。一時はやった外国崇拜の自虐的本の一種とも言える。歴史的諸条件の違いを考えると、日本の現状はよくやっていると思う私には違和感がある。

この本の残念なところは、豊かな住環境と資源環境問題の解決、便利な都市交通をどう実現していくかについての解決策の提言は少ないことである。

ただ、まちづくりのあり方について、産業優先から生活者優先に変えるべきという当たり前の思想を補強したいと思う人にとっては好著である。

(文/美濃部)

風景



九頭竜橋 (福井市森田地区) 対岸は舟橋地区 <昔々は 船を浮かべて板を渡し橋にしたそうです>

撮影者 林 照翁 / カメラ フジTX-1

第 17 回まちづくり懇談会の報告

日 時：2月5日（木）19:00～21:00

場 所：駅前商店街会議室（五十嵐ビル6F）

参加者：ROBA / 清水、玉井、坂川、内田

まちなか NPO / 永井、村北、古市、他 6 名

福井工大 / 古木 県立大 / 藤重、山田

車のスープ屋さん / 渋沢夫妻 ふくい街角放送 / 平井

議題：

12月24日ガレリアポケットでのクリスマスイベントの収支報告

（収入）	（支出）	（当会負担）
150,000	229,328	79,328

79,328 円をまちなか NPO と ROBA の会で負担するところ、まちなか NPO 会員入会協力を ROBA の会その他が協力するということを前提に、まちなか NPO にて負担する。

中心市街地活性化のためのバス交通 <主な意見>

- ・すまいるバスは便利、活用している
- ・バスの便数の見直しが必要
- ・バス停からの移動が困難
- ・バス停が自宅近くにない
- ・中心市街地にゆっくりできる場所がない
- ・バス料金高すぎる 定額制できないか
- ・料金がわかりにくい、小銭の準備面倒
- ・環状の路線も必要でないか
- ・商店も土日バス利用者への付加価値のサービス提供できないか
- ・バスに乗ったとき旅気分になれるような仕組
- ・若い世代は、格好から入る。今のバスの内外装では乗り気にさせない。見た目が大切。内外装を替えるべき。

次回開催案内

日時：3月4日（木）19:00～21:00

場所：駅前商店街会議室

議題：ROBA の会開催のシンポの基調講演ビデオ上映

『都市における公共交通とまちづくり』

by 中村文彦氏（横浜国立大助教授）

（文・内田）

編集後記・・・編集委員より一言

林（変集長）

「ピア前バス停は実現するか？」

清水（副編集長）

「春は来るのか？」

川口（副編集長）

「就職活動最前線」

内田（発行責任者）

「仕事も ROBA も年度末、がんばらなくっちゃ」

事務局

ふくい路面電車とまちづくりの会

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail : roba@mbh.nifty.com

URL : <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>